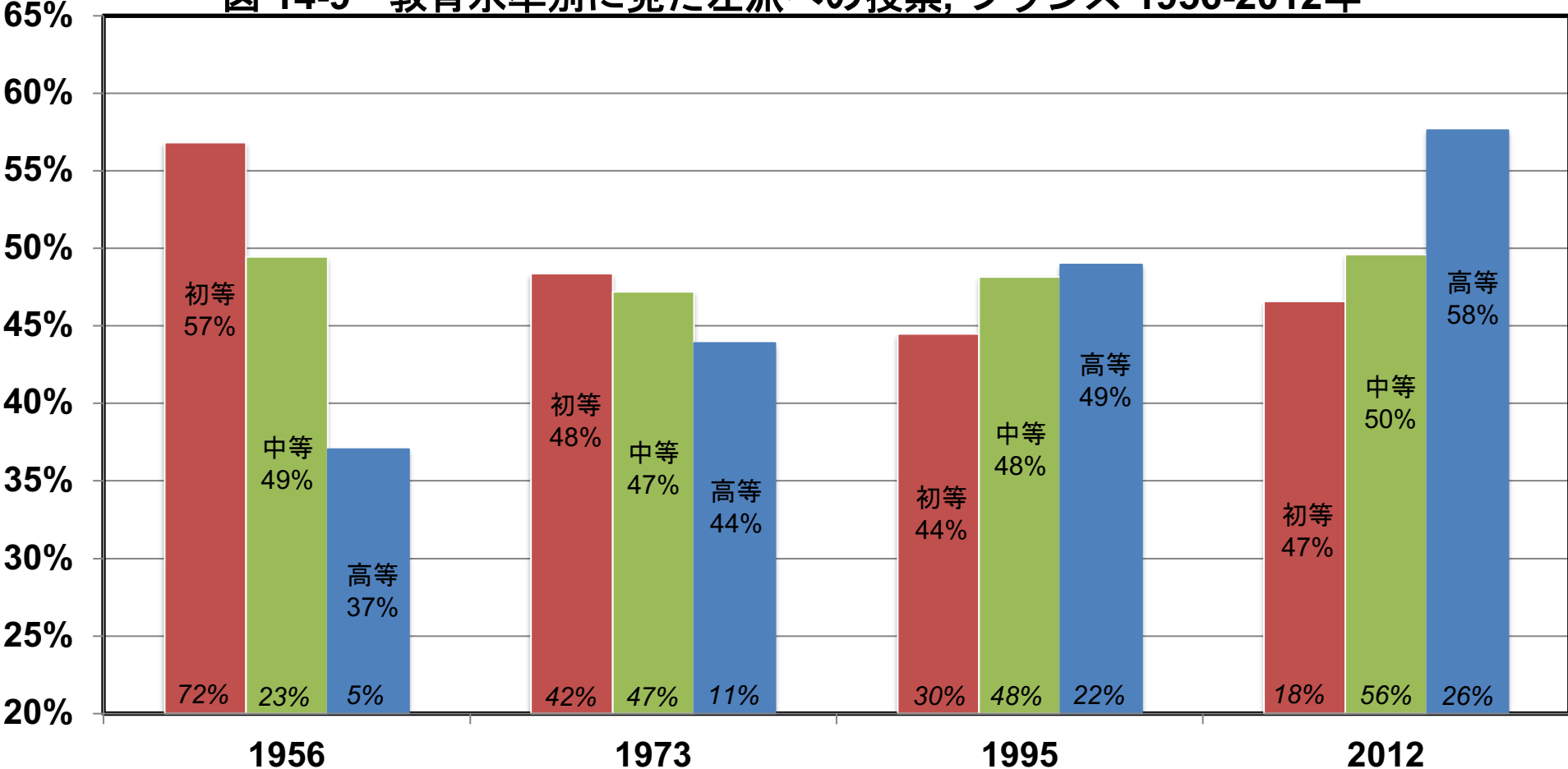


図 14-9 教育水準別に見た左派への投票, フランス 1956-2012年



解釈. 1956年の議員選挙では、最高学歴が初等教育 (certificat d'études primaires) 以下の有権者 (当時の有権者の72%) のうち57%は左派政党 (社会党、共産党、急進党) に入れたが、中等教育の有権者 (有権者の23%) では50%、高等教育学位の有権者 (有権者の5%) は37%が投票。2012年大統領選では、教育的亀裂は完全に逆転した。決選投票で左派候補は高等教育有権者の58%の票を得たが、初等教育有権者では47%だった。出所と時系列データ: piketty.pse.ens.fr/ideology 参照。